

2023年度（2023年4月～2024年3月）の主な事業報告は以下のとおりです

事業項目	主な事業	主な活動内容
1. 父母懇談会	支部	<ul style="list-style-type: none"> ・単独支部開催(会場開催) ・ブロック開催 22 支部(会場参集・オンライン併用開催)※支部総会は別日程で WEB 表決 ・父母懇談会出席者 461 名 ・リモート学習個別相談(別日程)
	首都圏	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン・会場参集併用での開催 ・オンライン支部会員の参加 ・出席者数(市ヶ谷 1,170 名、多摩 673 名、小金井 783 名) ・リモート個別相談(学習・キャリア形成)別日程
2. 後援会活動の活性化と適正化	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議へ参加 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会、常任幹事会、支部長会議、運営会議、各支部での役員会などの各種会議を活用し、活動のあり方について意見交換を行うとともに、後援会活動の活性化と適正化に向けた検討を重ねた。 ・コロナ過で減少した支部での活動を活性化するために、運営委員による「活性化プロジェクト」を発足させ、支部へのヒアリング等を実施。
3. 支部における諸活動(任意)	<ul style="list-style-type: none"> ・新生父母の集い ・キャンパス見学や会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新生父母の集い出席者(新生父母保証人)合計 257 名 ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに、新生父母の疑問や質問に答え、不安解消に努める。 ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信する。 ・支部会員によるキャンパス見学会・スポーツ応援などの実施。
4. 学生・大学への助成	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害などの影響によって困窮した学生への学習特別支援。 ・地方支部出身学生に特化した支援 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立。 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動/インターンシップ手帳作成、その他の助成。 ・海外留学奨学金の助成。 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援。 ・後援会奨学基金経費負担助成の継続。 ・各キャンパス自主法政祭補助など学生行事支援。 ・広報誌「HOSEI」の作成費用補助。
5. 広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況を配信。 ・広報誌「HOSEI」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介。 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂。

事業項目	主な事業	主な活動内容
6. 大学関係者との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学との各種懇談会の実施 ・ 校友会との相互連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後援会と「総長・常務理事」、「常任参与」との各種懇談会の実施。 ・ 校友会との懇談会を実施するほか、校友会主催の諸行事や会議などへ参加。
7. 学生支援 H S C (HOSEI SPORTS COMMUNITY)他 (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生スポーツ応援と文化系学生の課外活動のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学やHSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政・活動支援。および連携活動(東京六大学野球、ラグビー、アメフト、駅伝など)の競技応援。 ・ 文化系活動の発表会などに関する情報発信
8. 学生との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による各種活動と後援会の連携検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生による各種活動のリサーチ
9. その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対外組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関西大学教育後援会などとの交流及び連携。 ・ 「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会への参加。

※1 各主団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

2023年度後援会関係行事(参考資料)

月 日	行 事
2023年 4月3日(月)	*『入学式』
4月8日(土)	*第9回運営会議
4月29日(土)	*『オール法政神宮友の会「懇親会」』
5月6日(土)	*2022年度期末監査
5月13日(土)	*第10回運営会議 *幹事会 *新旧合同運営会議
5月20日(土)～6月25日(日)	*支部新入生父母の集い(27支部)
5月20日(土)	*新役員予定者説明会 *新役員キャンパス見学会(市ヶ谷・多摩・小金井)
5月21日(日)	*関西大学教育後援会総会(関西大学千里キャンパス)
6月3日(土)	*支部長会議【オンライン併用】 *総会【WEB表決】 *本部退任役員感謝状贈呈式
6月10日(土)	*第1回運営会議 *第1回常任幹事会 *支部父母懇談会出張者打合せ会
6月17日(土)	*後援会クラブ総会
6月24日(土)	*第2回運営会議 *第2回常任幹事会 *役員研修会【オンライン併用】
6月29日(木)	*常任参与と運営委員懇談会
7月9日(日)～8月27日(日)	*支部総会・父母懇談会(11単独支部、10ブロック【オンライン併用】)
8月1日(火)～8月20日(日)	*ブロック開催支部 電子表決期間
7月12日(火)	*『2023年度HSC実行委員会』【オンライン併用】
7月29日(土)	*オンライン学習個別相談(市ヶ谷・多摩)
8月5日(土)	*オンライン学習個別相談(市ヶ谷・小金井)
9月2日(土)	*第3回運営会議 *第3回常任幹事会
9月4日(月)	*『第22回オール法政ゴルフ大会「総長杯」』
9月16日(土)	*第4回運営会議 *支部総会・父母懇談会反省会 *『サッカー部百周年記念祝賀会』
9月30日(土)	*オンライン学習個別相談会(多摩)
10月1日(日)	*首都圏父母懇談会(市ヶ谷キャンパス)【オンライン併用】
10月8日(日)	*首都圏父母懇談会(小金井キャンパス)【オンライン併用】
10月14日(土)	*首都圏父母懇談会(多摩キャンパス)【オンライン併用】
10月21日(土)	*第5回運営会議 *第4回常任幹事会(首都圏父母懇談会反省会)
11月4日(土)	*『第29回法政大学全国卒業生の集い「倉敷大会」』
11月11日(土)	*支部長会議【オンライン併用】 *大学最新情報報告会
11月17日(金)～18日(土)	*『関西大学教育後援会・法政大学後援会合同研修会』【幹事校:法政大学】
11月22日(水)	*総長学内理事・後援会懇談会
11月25日(土)	*『後援会クラブ 秋の日帰り旅行会』
12月2日(土)	*2023年度期中監査 *第6回運営会議 *第5回常任幹事会
12月10日(日)	*『鎌倉法友会第27回史跡めぐり』
12月17日(日)	*『体育会射撃部100周年祝賀会』
12月20日(水)	*『オレンジの集い』
2024年1月2日(月)～3日(水)	*箱根駅伝応援 *『第100回箱根駅伝慰労会』(1/3開催)
1月4日(木)	*『長野県支部軽井沢慰霊碑献花式』
1月20日(土)	*第7回運営会議 *『オール法政賀詞交歓会』
1月26日(金)	*『第45回観世寿夫記念法政大学能楽賞・第33回催花賞贈呈式』
1月27日(土)	*『公認会計士合格者祝賀会』 *『後援会クラブ「新年を祝う会」』
1月28日(日)	*『2023年オール法政新年を祝う会(校友会)』
2月10日(土)	*『後援会支部活動に関する意見交換会』
2月17日(土)	*第8回運営会議
2月24日(土)	*『体育会フェンシング部祝勝会』
3月2日(土)	*第9回運営会議 *幹事会 *後援会賞・外国人留学生表彰
3月4日(月)	*『東京都私立大学父母・保証人の会事務局連絡会』【オンライン】
3月23日(土)	*『第18回体育会卒業生を送る会』
3月24日(日)	*『学位授与式』

第2号議案

2023 年度

決算書

法政大学後援会

2023年度決算書
2023年4月1日から2024年3月31日

【収入の部】

(単位:円)

科目 (款)	科目 (款)
1.一般収入	235,181,000
2.雑収入	1,449,217
3.積立金・引当資産からの繰入	6,000,000
4.預り金収入	84,336
5.期末未収入金	0
6.未収入金収入	0
当年度収入合計(A)	242,714,553
前年度繰越金	221,780,413
収入合計(B)	464,494,966

【支出の部】

科目 (款)	科目 (款)
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	320,000
2.学生支援費	91,043,115
3.会員情報費	29,599,945
4.会員行事費	32,274,806
5.役員活動費	10,031,235
6.企画運営費	12,040,214
7.人件費	10,953,460
8.学生支援積立金への繰入	31,000,000
9.後援会積立金への繰入	0
10.後援会引当資産への繰入	1,000,000
11.未払金支払	140,435
12.前払金	37,934
13.予備費	0
14.期末未払金	△ 120,599
15.前期末前払金支払	△ 41,180
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	218,279,365
当年度収支差額(A)-(C)	24,435,188
次年度繰越金(B)-(C)	246,215,601
支出合計(D)	464,494,966

監査書

法政大学後援会 2023 年度収支決算書を監査いたしました。
2024 年 3 月 31 日現在の経常費ならびに各種積立金の預金残高に
相違ありません。

2024 年 5 月 11 日

監査 石井 亘



監査 西山 広二郎



第3号議案 「2024年度 基本方針」

法政大学後援会は、戦後直後の混乱の中、日本の未来のために大学と学生の教育環境を支援しなければならぬという父母の強い思いにより発足しました。現在に至る76年の間、その設立の思いは会の伝統と共に受け継がれています。

会の長い歴史の中で日本のみならず世界を取り巻く環境は大きく変化しました。近年ではとりわけコロナ禍により会の活動自体に大きな制約が課せられましたが、昨年度より、ようやく変化を受け入れながら再スタートを切ることができました。

受け継がれて来た知見が失われたという危機もありましたが、同時に課題として意識されつつも当たり前に踏襲されてきた事柄も失われたことにより、過去に囚われることなく課題に対し気概を持って取り組んでいきます。そして法政大学の学生、会員の皆様に充実した「法政life」のサポートをします。

「2024年度 事業計画の考え方」

全国約27,000人の会員の皆様が、学生の成長を期待と安心を持って見守れる支援をします。大学と連携し、学生へは「自由を生き抜く実践知」の実現の支援、会員の皆様へは「子どもの母校は我が母校」と法政ファミリーの一員として実感してもらえる取り組みを行います。

1. 学生と大学への助成

課外活動 学生行事 各種講座、グローバル教育への支援。図書 備品等の大学への助成 寄贈。奨学・奨励金等の学生支援と自然災害等に被災した学生への就学特別支援を行います。

2. 会員向け企画の充実

会員の皆様が教育環境や学生生活を知る機会として首都圏と全国の各支部（ブロック開催含む）で「父母懇談会」を行います。また支部の任意の下、「新入生父母の集い」を新入生の会員の不安解消を目的として行います。今後とも会員の皆様が参加できる機会を増やせるよう企画の充実を図ります。

3. 広報活動の推進

広報誌「HOSE」の制作費等の補助、「会員のための大学ガイドブック」を制作し後援会の活動の様子や学生生活の情報提供をしていきます。2025年度を目標により有用で興味を引く情報発信ができるように後援会Webサイトの一新に取り組みます。

4. 支部向けサポートの充実

全国33支部に対し、共に活動の活性化を行い、大学を知る機会の提供と会員同士の交流やスポーツ応援を通して「子どもの母校は我が母校」を体現できるサポートの取り組みをしていきます。

2024年度の主な事業計画

2024年度（2024年4月～2025年3月）の主な事業計画は以下のとおりです

事業項目		主な事業	主な活動内容
1.父母懇談会	支部	・「支部総会」を33支部、「父母懇談会」を13支部、10ブロックで開催（7/1～8/27）	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な後援会活動の一つである、父母懇談会について会員の参加者数の増加と満足度向上を目指し取り組む。情報交換会や個別相談などの充実を図る。 ・大学、後援会本部は支部の開催について積極的にサポートをする。 ・支部総会、父母懇談会の開催方法（支部単独、もしくはブロック開催）については、各支部に一任する。 ・首都圏父母懇談会は、各キャンパスの特色を生かし、個別日程で開催する。
	首都圏	・「東京・神奈川・千葉・埼玉」の父母を対象に3キャンパスで開催 市ヶ谷キャンパス（10/6） 小金井キャンパス（10/13） 多摩キャンパス（10/19）	
2.後援会活動の活性化と適正化		<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議への参加 ・後援会活動の活性化、適正化に向けた討議 	<ul style="list-style-type: none"> ・幹事会、常任幹事会、父母懇談会、支部長会議、運営会議などの各種会議を活用し、活動のあり方について意見交換を行うとともに、後援会活動の活性化と適正化に向けた検討を行う。 ・後援会総会（報告会）の参加者数増大への取り組みを行う。 ・新入生歓迎の集いの開催の検討。
3.支部における諸活動（任意）		<ul style="list-style-type: none"> ・新入生父母の集い ・キャンパス見学や会員相互の親睦を図るための企画及び実施 ・支部による学生課外活動の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生父母の集いの開催については、各支部に一任する。 ・学生生活を中心とした情報を提供するとともに、新入生父母の疑問や質問に答え、不安解消に努める。 ・支部の活動情報を後援会ホームページで情報発信する。 ・支部会員によるスポーツ応援やキャンパス見学会などの実施。
4.支部向けサポートの拡充		<ul style="list-style-type: none"> ・後援会本部にて「支部活性化プロジェクト」を作り大学と協力して支部活性化の施策実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・支部の作業負担軽減。 ・支部活動費の適正化。 ・後援会の認知度向上。 ・支部活動の参加者増大サポート。 ・支部活動の好事例展開。 ・支部間のコミュニケーション拡充。

事業項目	主な事業	主な活動内容
5.学生・大学への助成	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、新型コロナウイルス感染症などにおける学生支援 ・経済的困窮学生のための支援 ・広報活動などへの補助 ・その他、学生・大学活動への助成 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、新型コロナウイルス感染症などの影響によって困窮した学生への学習特別支援。 ・「法政大学後援会特別支援費」の積立。 ・大学行事、国際交流、大学備品購入、各種講座、就職活動、体育会系クラブ、課外活動、図書購入、全学生に配布する学生手帳作成、就職活動/インターンシップ手帳作成、その他の助成。 ・海外留学奨学金の助成。 ・体育会助成やピアサポートなどの課外活動支援。 ・後援会奨学基金経費負担助成の継続。 ・各キャンパス自主法政祭補助など学生行事支援。 ・広報誌「法政」の作成費用補助。
6.広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「法政」掲載の「後援会だより」、後援会ホームページの活用 ・スポーツや文化活動の情報発信 ・「会員のための大学ガイドブック」の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会ホームページを活用し、会員向け情報や後援会の活動状況を配信。 ・広報誌「法政」の誌面を利用し、後援会活動や体育会スポーツ応援情報を紹介。また会員が参加できる機会の案内をする。 ・「会員のための大学ガイドブック」の改訂。
7.大学関係者との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・大学との各種懇談会の実施 ・校友会との相互連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会と「総長・常務理事」、「常任参与」との各種懇談会の実施。 ・校友会との懇談会を実施するほか、校友会主催の諸行事や会議などへ参加。
8.H S C (HOSEI SPORTS COMMUNITY) ・学生支援 (※1)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生スポーツ応援と文化系学生の課外活動のサポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学や校友会、後援会クラブとのスポーツ支援に関する連携。 ・HSC (HOSEI SPORTS COMMUNITY) への財政・活動支援。 ・東京六大学野球、ラグビー、アメフト、駅伝などの競技応援。 ・文化系活動の発表会などに関する情報発信について検討。
9.学生との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による各種活動と後援会の連携検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生による各種活動と後援会の連携を図り、学生及び保護者に対して後援会活動の更なる理解促進を図ることを検討。
10.その他	<ul style="list-style-type: none"> ・対外組織との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・後援会クラブとの交流及び連携。 ・関西大学教育後援会などとの交流及び連携。 ・「東京私立大学父母・保護者の会」事務局連絡会への参加。

※1 各主団体の応援ガイドラインなどに基づきサポートを行う。

第4号議案

2024年度収支予算書

経常費

【収入の部】

(単位:円)

科目(款)	2024年度 予算額
1.一般収入	237,324,000
2.雑収入	552,000
3.積立金・引当資産からの繰入	26,000,000
4.預り金収入	0
5.期末未収入金	0
当年度収入合計(A)	263,876,000
前年度繰越金	246,215,000
収入合計(B)	510,091,000

【支出の部】

科目(款)	2024年度 予算額
1.自然災害等被災(含む、コロナ困窮)学生のための学生支援費	20,000,000
2.学生支援費	103,312,000
3.会員情報費	36,848,000
4.会員行事費	53,581,000
5.役員活動費	23,560,000
6.企画運営費	19,470,000
7.人件費	11,986,000
8.学生支援積立金	31,000,000
9.後援会積立金	0
10.引当資産	1,000,000
11.未払金支払	0
12.前払金	0
13.予備費	5,000,000
14.期末未払金	0
15.前期末前払金支払	0
16.預り金支払	0
当年度支出合計(C)	305,757,000
当年度収支差額(A)-(C)	△ 41,881,000
次年度繰越金(B)-(C)	204,334,000
支出合計(D)	510,091,000

第5号議案

2024年度 法政大学後援会役員

【法政大学後援会会則抜粋】

第8条 第7条第1号から第6号までの役員については幹事会において役員の中から選出した選考委員をもって構成する選考委員会が次の各号により選出し、総会の議を経て決定する。

- (1)会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。
 (2)常任幹事は幹事より選出する。(3)幹事は会員より選出する。(4)監査は相談役・顧問経験者より選出する。
 人数については 第7条に次のように規定している。

- (1)会長 1名 (2)副会長 4名以内 (3)総務 8名以内 (4)監査 2名 (5)常任幹事 全学年30名以内
 (6)幹事 各学年22名以内 (7)以下略

1. 第8条1項3号 幹事は会員より選出する。

1年 幹事 19名

あらい やすひろ 荒井 康洋	いけだ ひろみ 池田 弘美	いしい なみ 石井 奈美	いのうえ きよたか 井上 清貴	かわぐち やすゆき 川口 泰由	ごとう みつえ 後藤 光恵	しらいし ちえこ 白石 智恵子	すずき さとこ 鈴木 聡子
そだ なおたか 園田 直孝	たかはし みつたか 高橋 光孝	たかみざわ ともし 高見澤 ともし	とどろき のりこ 轟 典子	にしの りえこ 西野 理恵子	はかまだ しんいち 袴田 真一	はしもと ゆうこ 橋本 優子	ふくおか かずひこ 福岡 一彦
ふくとめ ともし 福留 智子	よしま はじめ 吉識 肇	よした みち子 吉田 三知子					

2年 幹事 22名

いなたみ ゆうすけ 稲富 裕介	おくやま さとし 奥山 敏	かねこ じゅんこ 金子 順子	かばやま だいすけ 榊山 大輔	かわかみ きよはる 川上 清治	きよおか いずみ 清岡 泉	ささき ひでお 佐々木 秀雄	すげがわ ちひろ 助川 千尋
たかつ なおてる 高津 尚晃	たかはし まこと 高橋 誠	ながくら あけみ 長倉 明美	はぎわら やすこ 萩原 泰子	ふくだ つよし 福田 毅	ほしの みほこ 星野 美穂子	まつやま しげひろ 松山 繁博	むらい ちえ 村井 智枝
もりた ともしろ 盛田 知博	やすい ようこ 安井 洋子	やまぐち たけし 山口 剛史	やまのうち あつし 山之内 淳史	わだ よしたつ 和田 吉立	わたなべ まき 渡部 真紀		

3年 幹事 20名

あだち まきこ 足立 真樹子	いざき みき 井崎 美妃	いしはら しゅうじ 石原 修二	うねの かずお 植野 一男	おさだ のぶはる 長田 信春	かまた ゆうこ 鎌田 祐子	かんの みほ 菅野 美穂	ぐんじ たかし 郡司 貴志
こうやま みさこ 幸山 美佐子	こだま さよこ 児玉 さよ子	さいき やすこ さいき やすこ	ささき えつこ 佐々木 悦子	ささき ひでよ 佐々木 英世	さとう あきら 佐藤 晃	すなが きちよ 須永 幸代	ふじ たけお 富士 豪生
もりかわ ひろし 森川 洋	やまがみ あきお 山上 晃央	やまぐち えみ 山口 恵美	やまなか やすひろ 山中 康弘				

4年 幹事 19名

あかつか まきこ 赤塚 真紀子	おかじま たけし 岡島 健	きだはし あすか 木田橋 あすか	さかい えみこ 坂井 英美子	じどうえ まさみ 地頭江 正美	しげや みゆき 渋谷 美由紀	しもむら りえ 下村 利恵	たかはし ひろまさ 高橋 裕昌
たけひさ くみこ 竹久 久美子	たなか たけひろ 田中 豪博	とよだ としこ 豊田 稔子	つちたに じゅんじ 土谷 純二	なかにし よしひさ 中西 良尚	なかむら なおき 仲村 直規	はやし ひろゆき 林 弘行	ほんだ みき 本田 美輝
まさやま ゆみこ 昌山 友美子	まるつか くみ 丸塚 久美	やまざき まさひこ 山崎 雅彦					

2. 第8条1項2号 常任幹事は幹事より選出する。

常任幹事 29名

常任幹事(2年) 6名

おくやま さとし 奥山 敏	かねこ じゅんこ 金子 順子	すげがわ ちひろ 助川 千尋	たかはし まこと 高橋 誠	むらい ちえ 村井 智枝	やまのうち あつし 山之内 淳史
------------------	-------------------	-------------------	------------------	-----------------	---------------------

常任幹事(3年) 10名

いしはら しゅうじ 石原 修二	おさだ のぶはる 長田 信春	かまた ゆうこ 鎌田 祐子	かんの みほ 菅野 美穂	こうやま みさこ 幸山 美佐子	さいき やすこ 佐伯 康子	ささき ひでよ 佐々木 英世	さとう あきら 佐藤 晃
ふじ たけお 富士 豪生	やまがみ あきお 山上 晃央						

常任幹事(4年) 13名

おかじま たけし 岡島 健	さかい えみこ 坂井 英美子	じどうえ まさみ 地頭江 正美	しもむら りえ 下村 利恵	しげや みゆき 渋谷 美由紀	とよだ としこ 豊田 稔子	はやし ひろゆき 林 弘行	ほんだ みき 本田 美輝
まさやま ゆみこ 昌山 友美子	まるつか くみ 丸塚 久美	やまざき まさひこ 山崎 雅彦	あかつか まきこ 赤塚 真紀子	なかにし よしひさ 中西 良尚			

3. 第8条1項4号 監査は相談役・顧問経験者より選出する。

監査 2名

あさみ さとる 浅見 佐亨	まつざき こうじ 松崎 浩司
------------------	-------------------

4. 第8条1項1号 会長および副会長は常任幹事より選出し、総務は常任幹事または幹事より選出する。

会長 じどうえ まさみ 地頭江 正美	副会長 しもむら りえ 下村 利恵	とよだ としこ 豊田 稔子	まさやま ゆみこ 昌山 友美子	やまざき まさひこ 山崎 雅彦
総務 かんの みほ 菅野 美穂	ささき ひでよ 佐々木 英世	さとう あきら 佐藤 晃	やまがみ あきお 山上 晃央	
おくやま さとし 奥山 敏	すげがわ ちひろ 助川 千尋			

以上12名